



欧州連合・米国間テロリスト資金源追跡プログラム利用協定に欧州連合が合意

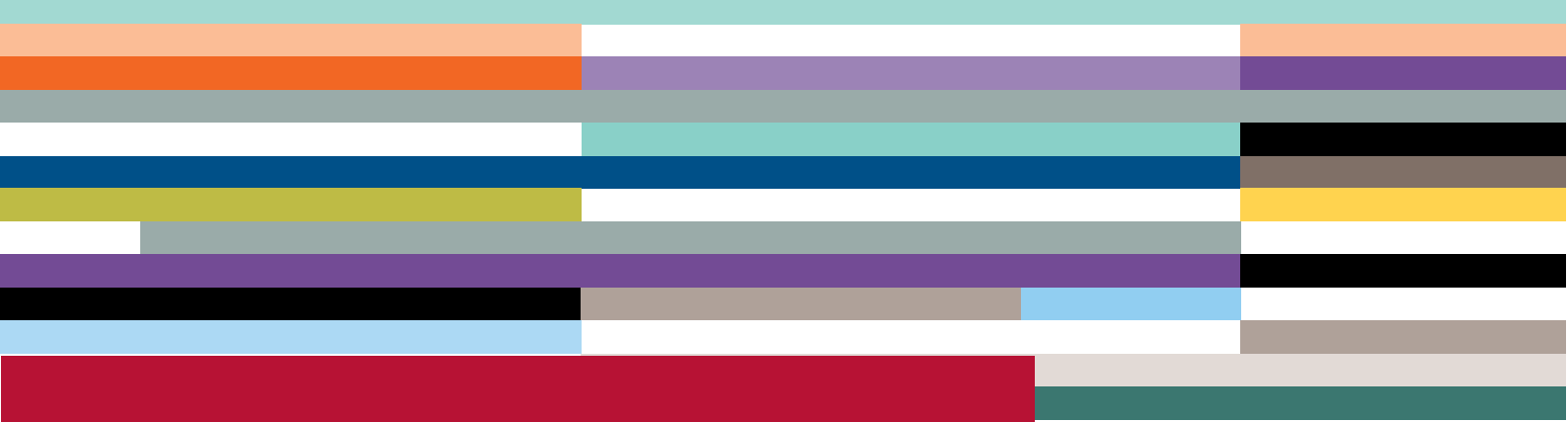
ブリュッセル、2010年7月8日：6月24日の閣僚理事会での合意を受け、欧州議会は本日、欧州連合・米国間テロリスト資金源追跡プログラム利用（TFTP）協定¹

(http://www.europarl.europa.eu/news/expert/infopress_page/019-78055-186-07-28-902-20100707IPR78054-05-07-2010-2010-false/default_en.htm)を正式に可決しました。

同協定の反テロリスト資金源追跡規定は、欧州連合および米国内で運営を行う国際的プロバイダーによって欧州内で保持されている金融メッセージングデータに適用されるため、SWIFTにも適用されることとなります。同協定は、2010年8月1日より施行される予定です。

この新協定を受けて、SWIFT 最高経営責任者であるラザロ・カンポスは以下のとおりコメントしました。「顧客データの保護は、今後も SWIFT にとって最優先事項であることに変わりありません。この協定のもと想定される公共機関への新しい管理体制に加えて、SWIFT では、独自の長期的かつ最先端な保護措置の実施を継続していく予定です。弊社が提供する保護措置は、最善の慣行として世界的に認められています。同協定の最終合意において、弊社の保護措置が考慮されたという事実を大変嬉しく思います。この措置には、データ要求の範囲を反テロリズム目的のみに限定したり、データを安全な環境に保存したり、データ検索のすべての正当性を監視したりする機能が含まれています。」

¹ 欧州連合・米国間テロリスト資金源追跡プログラムを目的とした、欧州連合から米国への金融メッセージデータの処理および送信に関する欧州連合・米国間での協定



同協定の新しい法的枠組みのもと、**SWIFT** では各機関と連携し、想定される保護措置の運用実施を支援していく予定です。

-以上-

.....
.....
SWIFT について

SWIFT はメンバーが所有する共同組合形式の団体であり、世界 209 ヶ国以上における 9,400 社以上の銀行、証券会社、事業法人などを接続したコミュニケーションプラットフォーム、および関連製品、サービスを提供しています。SWIFT は、ユーザー間での金融情報の通信・データ交換を自動化、標準化された安全性の高い確実な手段で提供し、その結果としてユーザーのコスト引き下げ、オペレーションのリスク削減や非効率性の排除を実現しています。また SWIFT は、金融業界との協働を通じて、市場慣行の形成、標準仕様の定義、共通する諸問題に関する意見交換・論議の場を提供するなど、業界全体のまとめ役としての役割も果たしています。www.swift.com

詳細については、弊社ウェブサイト (www.swift.com) をご覧頂るか、または以下までお問い合わせください：

SWIFT 報道担当局

ブリュッセル市内：+32 2 655 3377

pressoffice@swift.com